

## ぼうさい探検隊マップコンクールの表彰式を開催

～東京都・神奈川県で、入賞団体の栄誉を称える～

日本損害保険協会関東支部委員会（委員長：服部 たか穂・東京海上日動火災保険株式会社 関東エリアサービス部・ディパートメントヘッド）では、このたび、第21回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で入賞した当支部管内の4団体に対して、現地表彰式を開催しました。

第21回目となる今回のコンクールでは、全国の小学校、子ども会、児童館、少年消防クラブなど419団体から7,590人が参加し、1,413作品が寄せられた中、全部で22作品（文部科学大臣賞等9作品、審査員特別賞8作品、デジタルマップ特別賞5作品）が入賞しました。

このうち、令和6年能登半島地震で大規模な火災が発生したことを受け、自分達の住むまちが大規模な火災に見舞われた際にどうなるのか？ということを考えて作成し、2度目の「消防庁長官賞」を受賞した東小田小学校わくわくプラザ「東小田小学校わくわく調査隊」（神奈川県）と、人口や交通量が増えたことに伴って増加した交通事故の防止を目的とし、警察官と一緒にまちを探検して実際の事故発生場所や危険・安全な場所をまとめ、「審査員特別賞」を受賞した渡田小学校わくわくプラザ「チームにこ😊サン⚡」（神奈川県）の表彰式をそれぞれ2月19日（水）に各団体で開催し、神奈川損保会の南井会長（東京海上日動火災保険株式会社 横浜中央支店長）が出席しました。

また、防災をテーマに、令和6年能登半島地震の被害状況や市民防災センターでの体験を通じて自助の重要性を学び、自分達のまちで大地震が起きたらどうなるのか？ということを考えて詳しくまち探検を行って作成し、2年連続で4度目の「デジタルマップ特別賞」を受賞したガールスカウト神奈川県第53団「GS KANAGAWA 53」（神奈川県）については、2月23日（日）に地元福祉施設で表彰式を開催しました。

さらに、都市型水害の危険性に着目し、まち探検を行ったうえで通学路付近の川の水位や橋の状況について「安全なポイント」と「危険なポイント」をしっかりと見極めて作成し、同じく「デジタルマップ特別賞」を受賞した「ミラキュラス探検隊」（東京都）の表彰式を3月7日（金）に児童通学の小学校で開催しました。

各地で開催された表彰式では、表彰動画の上映の後、損保会長もしくは関東支部職員から、表彰状および副賞の授与、作品の講評を行ったほか、受賞団体の代表児童や指導者から、取り組みに当たっての工夫や注力した点の説明がありました。各団体ともマップ作成にとどまらず、自分達の住むまちをより良くするにはどうしたらよいかを深く考えて取り組んだ真摯な姿勢が伝わってきました。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携して、ぼうさい探検隊を中心に、防災教育活動の普及啓発を推進してまいります。



<消防庁長官賞の表彰式>  
東小田小学校わくわくプラザ（神奈川県）



<審査員特別賞の表彰式>  
渡田小学校わくわくプラザ（神奈川県）



<デジタルマップ特別賞の表彰式>  
ガールスカウト神奈川県第53団（神奈川県）



<デジタルマップ特別賞の表彰式>  
ミラキュラス探検隊（東京都）

【ご参考】

「ぼうさい探検隊」とは、子どもたちがまちを探検しながら、まちにある防災、防犯、交通安全に関係のある施設や設備を発見し、マップにまとめる実践的安全教育プログラムです。子どもたちの防災意識の向上や地域コミュニティの強化を目的として実施しています。日本損害保険協会では、内閣府、文部科学省、警察庁、消防庁、気象庁など行政機関や団体の後援を受け、2004年から毎年、マップコンクールを開催し、作成したマップを表彰しています。

<参考リンク>

■第21回「ぼうさい探検隊マップコンクール」入選作品決定

[https://www.sonpo.or.jp/news/release/2024/g3410i00000055cr-att/241218\\_02.pdf](https://www.sonpo.or.jp/news/release/2024/g3410i00000055cr-att/241218_02.pdf)

■第21回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰動画を公開

[https://www.sonpo.or.jp/news/notice/2024/g3410i00000051kr-att/250130\\_01.pdf](https://www.sonpo.or.jp/news/notice/2024/g3410i00000051kr-att/250130_01.pdf)